

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第1部門第1区分

【発行日】平成28年6月23日(2016.6.23)

【公開番号】特開2016-73273(P2016-73273A)

【公開日】平成28年5月12日(2016.5.12)

【年通号数】公開・登録公報2016-028

【出願番号】特願2015-166615(P2015-166615)

【国際特許分類】

C 12 Q 1/68 (2006.01)

C 12 N 15/09 (2006.01)

【F I】

C 12 Q 1/68 Z N A A

C 12 N 15/00 A

【手続補正書】

【提出日】平成28年4月7日(2016.4.7)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

ニッキングおよび伸長増幅の反応をリアルタイムでモニタリングする方法であって、

(a) 試験試料を、等温条件下で、ポリメラーゼ、それぞれが標的核酸分子上の相補的配列に特異的に結合する2つ以上のプライマーオリゴヌクレオチド、ニッキング酵素、および検出可能なポリヌクレオチドプローブと接触させるステップであって、前記プライマーオリゴヌクレオチドのそれぞれは、前記標的核酸分子と相補的な配列の3'末端に位置する1つ以上の2'修飾ヌクレオチドを含むステップ；

(b) 前記標的核酸分子の少なくとも一部を含むアンプリコンを生成するステップ；ならびに

(c) シグナルをリアルタイムで検出し、それにより前記標的核酸分子を定量するステップ

を含む方法。

【請求項2】

前記試験試料は、病原体を含む、請求項1に記載の方法。

【請求項3】

前記病原体は、ウイルス、細菌、酵母または真菌である、請求項2に記載の方法。

【請求項4】

前記試験試料は、生物試料である、請求項1に記載の方法。

【請求項5】

前記生物試料は、生物体液、細胞、または組織試料である、請求項4に記載の方法。

【請求項6】

前記生物体液は、尿、精液、膣分泌液、または糞便である、請求項5に記載の方法。

【請求項7】

前記試験試料は、環境試料である、請求項1に記載の方法。